

日本は、大正十一年に於ては、戦後恐慌の余韻を帯び、国内の政治的・経済的動向は、極めて不安定な状態に陥つて居る。この時期に於ては、政府は、戦時体制の維持と、戦後復興の準備とを同時に進めねばならぬ。特に、戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。

戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。特に、戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。

戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。特に、戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。

戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。特に、戦時体制の維持に於ては、国内の統制を徹底し、戦時生産の増進を期すことが、政府の第一の任務である。

根拠若人協同會大阪支所

財團法人協同會大阪支所

ノ特長ハ大量生産ト自由競争デアルガ、共ニ統制經濟カラミレバ
 集約サレタ國民ノ意思ニヨツテ統制サレナケレバナラス。ソ
 レヲ國民經濟ヲ安固ニシ、而シテ産業ヲ阻害セズ統制ヲスルコトガ
 必要デソノ爲ニハ滿蒙ヲ相對ニ開發セネバナラス、單ナル企業ノ
 統制ト混交スベキデナイ

要スルニ滿蒙ノ開發ハ前途遠達チ資本モ可ナリ必要デアル、兵力
 モ三個師團ハ必要デ、鐵道モ四八〇〇キロハ軍用トシテモ必要ダ
 ソレニ運賃ヲ下ケルコトモ必要ダ、鐵道ヲ施クノキ、日本ノ國民
 ニモ新國家ニモ負擔サスコトガ出來ヌトスレバ滿蒙ガ負擔スルコ
 ト外ニナイ、然カラバ運賃ヲ安クスルコトガ出來ヌト云フデレン
 マニ陥ルガ滿鐵トシテハ年九千万圓ノ經費ノ中一千万圓ヲ占メテ
 居ル、牧養費ナシカテ切リハナストカ根本的的改革ヲスルトカ何ト
 カシテヤツテ行カナケレバ結局開發ガ困難トナラフ。

次チ新國家ヲ中心トシテ滿蒙ヲミレバ、要スルニ未ダ國家ノ組織